

当院で心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月24日

循環器内科

群馬大学医学部附属病院では、下記の臨床研究を実施しており、対象となる方に臨床研究へのご協力をお願いしております。

この研究の計画、研究の方法について詳細をお知りになりたい、資料を閲覧したい場合、又は研究に試料・情報を利用して欲しくない場合は、【研究に関する相談窓口】へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等、お答えできない内容もございます。また、ご連絡をいただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

【対象となる方】

当院で西暦2023年4月1日から2024年12月31日の間に心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた方

【研究課題名】

左室駆出率の保たれた心不全における左房低電位領域の特徴

【当院の研究責任医師】

研究責任医師:循環器内科 病院講師 田村峻太郎

【研究の目的】

心房細動は高齢化に伴い患者数が増加している代表的な不整脈であり、脳梗塞や心不全の原因となることが知られています。近年では、左室駆出率の保たれた心不全（HFpEF: Heart Failure with Preserved Ejection Fraction）と心房細動との関連が注目されており、HFpEFを合併した心房細動患者さんでは予後が不良であることが報告されています。

心房細動に対するカテーテルアブレーションでは、3D マッピングシステムを用いて左房内の電位を評価します。その際に認められる「左房低電位領域」は、左房の心筋の変化を反映すると考えられており、アブレーション後の再発との関連が報告されています。一方で、HFpEF 患者さんの左房低電位領域の特徴や局在分布については十分に明らかになっていません。

本研究では、心房細動に対してカテーテルアブレーションを施行された患者さんの既存の診療情報および 3D マッピングデータを用いて、HFpEF 症例における左房低電位領域の特徴や、アブレーション後再発との関連について検討することを目的としています。

【研究に用いる試料・情報と研究の方法】

当院で心房細動に対するカテーテルアブレーションを受けられた方の年齢、性別、身長、体重、既往歴・併存疾患、内服薬、血液検査結果、心電図検査、心エコー検査、3D マッピングデータ(左房低電位領域の解析結果)、カテーテルアブレーション手技内容、アブレーション後の心房性不整脈再発情報、フォローアップ期間中の心血管イベントについて、電子カルテを用いて収集します。その中で、左室駆出率の保たれた心不全の方、そうでない方の情報を比較します。

【研究期間】

この研究は群馬大学医学部附属病院臨床研究審査委員会による審査及び承認を受け、以下の期間で行われます。

研究実施期間:研究実施許可日 ～ 2026年12月31日

情報を利用開始する予定日:2026年7月31日

【研究組織(試料・情報を利用する者の範囲)】

この研究は当院のみで行う研究です。

研究責任医師:循環器内科 田村峻太郎

【個人情報の取扱い】

個人情報の漏洩を防ぐため、本研究で用いられる試料・情報については氏名など個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は含まれません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用(二次利用)する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

【利益相反について】

研究者が公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないかと、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われないのではないかと(企業に有利な結果しか公表されないのではないかと)などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反(患者さんの利益と研究者や製薬企業などの利益が相反している状態)と呼びます。研究分担者の中にカテーテルを販売するディーブイエックス株式会社、日本ライフライン株式会社、バイオトロニックジャパン株式会社の資金による寄附講座に所属する者がいますが、このことが研究に影響を及ぼすことはありません。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について

公正性を保ちます。

【研究に関する当院の相談窓口】

所属・職名：群馬大学医学部附属病院循環器内科 病院講師

氏名：田村 峻太郎

連絡先：〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-15 027-220-8145